

要点録	
会議の名称	第3回田村駅周辺整備推進会議
開催日時	令和3年2月12日（金）午後1時30分～午後3時15分
参加者	<p>出席者</p> <p>仁連 孝昭 滋賀県立大学 名誉教授</p> <p>井 経子 社会福祉法人石龍会 チャイルドハウス 園長</p> <p>綺田 敏明 田村自治会 自治会長</p> <p>川崎 他家廣 長浜地方卸売市場株式会社 代表取締役</p> <p>辻村 忠嗣 田村町まちづくり委員会 委員長</p> <p>竹中 慎吾 一般社団法人長浜青年会議所 未来創造委員会 委員長</p> <p>松本 秀章 滋賀文教短期大学 副学長</p> <p>若林 浩文 長浜バイオ大学 理事長</p> <p>柴田 善成 六荘地域づくり協議会 会長</p> <p>小川 暢保 長浜サイエンスパーク 推薦</p> <p>野本 浩司 高橋町まちづくり委員会 委員長</p> <p>饗庭 啓良 滋賀県長浜土木事務所 所長</p> <p>欠席者</p> <p>畑下 嘉之 社会福祉法人青祥会 理事長</p> <p style="text-align: right;">（敬称略）</p>
事務局	<p>長浜市都市建設部：下司部長、嶋田次長</p> <p>長浜市都市建設部都市計画課：一居課長</p> <p>田村駅周辺整備室：塚田室長、三浦主幹、和田主査</p>
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>都市建設部 下司部長</p> <p>3 報告</p> <p>1) 前回推進会議からこれまでの取組について</p> <p>2) 田村駅・周辺整備事業の方針について</p> <p>4 その他</p> <p>次回、推進会議は、4月、5月開催予定。</p> <p>（詳細の日程については後日調整）</p>	

主な質疑、意見等（○：アドバイザー、・：参加者、→：事務局）

- ・ J R と合意に至らなかった原因を教えてください。
- 駅施設は老朽化しているが、10年20年の安全性はあること。乗降客数が3,000人/日を超えていないこと。北陸本線自体が赤字路線であること。
  
- ・ 周辺整備を進めて3点がクリアできない場合、J R はお金を出さないのか。周辺整備が進んで田村駅の改修工事ができない可能性はあるのか。
- 田村駅整備が立ち止まることはあり得ないと考えている。駅が整備されて60年以上が経過しているため、安全性等について協議・交渉をしていく。
  
- ・ 現在の田村駅乗降者数と北陸本線の赤字規模を教えてください。
- 乗降客数2,540人/日（令和元年4月1日現在）。J R から具体的な回答はないがずっと赤字と聞いている。
  
- ・ 田村駅を利用している人の声を教えてください。
- 基本構想や基本計画策定時のワークショップ等で、ホームが狭く冬季は屋根に支えが必要なほど老朽化している、待合室に冷暖房の設備がほしい等の意見を聞いている。毎年J R へ要望活動を行っている。
  
- ・ なぜ田村駅は整備されていないのか教えてください。
- 旧長浜市以外のJ R 駅は市町合併前に整備されている。田村駅は長浜駅整備後にとりかかる予定で進めてきたが、市町合併もあり現在に至っている。
  
- ・ 市の本気度、田村駅の位置づけが熟成されていない。議論が深まっていない。新聞に掲載された周辺整備という形で市が舵を切る話だと思うが、従前から質問していたランドデザインがない。坂田駅周辺は分譲するとほぼ売れている。長浜市は大きな計画がない。
- 基本構想策定時に、関係者から熱い思いを聞いて田村駅周辺のまちづくりを進めていこうと議論を積み重ねてきた。総合計画に長浜南部地域を人口流出のダム機能と流入を受け入れる機能を合わせもった地域として掲げている。熱い思いを前面に出せる周辺整備事業に取り組んでいきたい。
  
- ・ 長浜市の人口流出に関し転出先を調査した。坂田周辺には、長浜市民も家を建てている。基本構想はできているが、スピード感を持ってやってほしい。  
田村には大学、市民病院など市の機能が集約されていて、非常にポテンシャルが高く、特に琵琶湖に一番近く風光明媚なところ。地元の自治会としっかり協議をされているのか教えてください。
- 中期計画に位置づけている市街化区域の拡大について、近隣自治会や高橋町まちづくり委員会正副委員長、営農組合の方の声を聞いている。今後の高橋町のまちづくりとあわせて少しずつ取り組んでいる。
  
- ・ J R と粘り強く交渉することは期待するが、協議は平行線のように感じる。交渉の期間はどのくらいか教えてください。乗降客数3,000人/日を実現するためにソフト面で検討されていることを教えてください。

→期間はいつとは申し上げにくい。駅整備を待たずして周辺整備を進めていくと舵を切った。周辺整備事業も一定期間が必要と考えている。ソフト面は昨年9月に田村駅西口で社会実験的にPark(ing)Dayを開催した。公共空間をどう使えるか、何が必要かという部分について継続的に関係者と話を進めていきたい。

- ・ソフト面はできる限りの協力はする。この数年間、乗降客数3,000人/日を目指すと言って具体的に何をしたのか教えてほしい。乗降客数3,000人/日に増やすなら駐車料金を思い切って安くしてはどうか。周辺整備を先行して利用者がくるのか。長浜市民病院の産婦人科でお産ができないと知った。南長浜地域が整備されてもソフト面がおろそかだと住んでもらえない。周辺整備と並行してソフト面もしっかり取り組んでほしい。

→長浜市全体で取り組んでいきたい。市内共有を図り、長浜市のまちづくりに繋げていきたい。

○JRと粘り強く協議を継続することは、今後足踏みすることになる。コロナはすぐには終息しない。JR西日本全体も赤字である。新幹線が舞鶴から京都に進むと北陸本線は冷遇されJR側としてのれる条件がますます減っていくと思う。

田村駅を長浜市の南部の中心として人が集まれる魅力をつくる奇策案が二つ。

一つは、市が田村駅の西と東を繋ぐテラスをつくる。田村駅は琵琶湖に近い駅。西を見れば琵琶湖、東を見れば伊吹山。景色だけで人を呼び寄せられ名所になる。

もう一つは、卸売市場をやめて若者が住めるマンションを建てる。一階は若者が仕事やくつろげるスペースとする。一気に田村の魅力が上がり若い人たちが集まると思う。坂田とは違うコンセプトでまちづくりを進めていく。田村は非常に良い場所で景観を生かして若者が集まれる場づくりが必要と思う。今までと同じでは前に進まない。駅前整備をするならば、駅の上に通路をつくり人が集まる場所になる空間をつくることで雰囲気がガラッとかわる。卸売市場の機能転換も含めて、今までにない強力な方策を取らないと前へ進まないと思う。

→今のような意見を行政から出すことは難しい。意見をいただき行政の方で検討することは今後非常に大切と思う。駅の整備をすることで、にぎわいが生まれるということで進めてきた。仁連先生もおっしゃったとおり、JRとしての認識、コロナ禍においてはどう進めていくのか一考しなければならない状況になってきました。今後の整備については、駅整備を現時点においては、今はしないことをお示ししているので、全体が前倒しになった時に具体化できてないところを具体化していかないと計画的なまちづくりが進まないと考えています。推進会議でご意見をいただきながら、明確にしていく必要があると考えているので、行政では整備ができないところについて、こうしたら良いのではないかと新たにこういうことを考えていくべきかというご意見もいただきたい。

- ・大学を誘致できたおかげで企業6社も大変順調。文教地区のイメージが田村駅にできたとみんな喜んでいる。田村駅改築は1年どころか永久に伸びたと思っている。JR本体が大変な赤字。田村駅の整備が伸びたことをコロナだから仕方がないと納得しようとしているが、エネルギーをこの時期に爆発させないことには次に繋がらない。田村駅周辺にいる企業、大学は逃げられないので、もう一度どうすれば良いかということをもみんなで考えないと進まないと思っている。

膝の悪いお年寄りが田村駅を利用して京都まで行っている。帰宅時には膝が悪くて歩道橋を渡れないため長浜駅まで行き、折り返して田村駅東側で降り駐車場へ向かわれている。弱者の気持ちになりバリアフリーの意味をもう一度真剣にならないといけない。行政も腹を据えてどう打開するか

を考えないといけない。

→市として、田村駅の整備を諦めたというものでは決してない。JRの借金も大きくJRがお金を出してくれる状況はそう簡単なことではないと考えている。コロナ禍の中、長浜市が全てを負担して整備する時期が今ではないと判断した。皆さんのお知恵も拝借しながら南長浜のまちづくりを進めたいと考えている。時期を見て駅の整備が必要である段階が出てくると思うので、皆さんのお力を貸していただきながら進めていきたいと考えている。

- ・田村駅乗降者数2,500人/日の内訳や割合の調査はできているか。計画3,800人/日の見込について教えてほしい。課題が明確になれば、打つべき策やアイデアがそれぞれの立場・視点から出てくると思う。データがなければ調べてほしい。

→手持ち資料ないため、後日説明に伺う。

- ・最初、田村駅の改修工事をするために、周りを開発するイメージを持った。もっと大きな絵を書いてほしい。商業施設やサイエンスパークの延長、もう少し利用が高まる計画を中に入れてほしい。長浜市が非常に良い計画を持ってきたら協力したいと思う。もう少し広域にこの計画をやり直してほしい。

→ご意見として頂戴し進めていきたい。

- ・広範囲で計画をたててJRと交渉する方が良い。以前から話しているように、市場は体力が非常に弱くコロナ禍で非常に厳しい。将来的には移転と思っているが、近々では難しく資金問題もある。市場自体は、16万人の台所を預かっているため無くなることは考えられない。第三セクターの市場としての機能は発揮していきたい。市場が出ていくのは20年先はわからないが、5年10年先は非常に難しい。施設も30年が経過し老朽化しているので移転も考えざるを得ない。

市場法が変わり許可制から認可制となった。長浜市場というよりも、長浜中央卸売市場ということで存続をしていきたいと考えている。

- ・創設時から、ダム機能として人口を減らさない最後の砦として田村駅周辺の整備をしようこの協議会が立ち上がった。

長浜市民病院の産科医4人が滋賀医科大学に帰任してしまうのに、若い子がどうしてやってくるのか。産科があるのは1つだけになる地域に若い人が住みつくのか。教育はどうするのか。単純にまちをつくる、道路をつくるだけではなく、若い人をひきつける魅力のあるまちを。建物を建てなくても、さいかち浜、琵琶湖までつながる素晴らしい景観がある。景観をもっとうまく生かした形で議論を。コロナ禍で市やJRの財政は厳しくなる。こういう中でまちづくりをどうするか、もう一度リセットしてどんなまちをつくるのかを考える。10年20年経っても何も活性化しないし、若者も集まらないと思う。5年10年で田村駅が整備できるとは思わない。

学生を長浜市の方でいろんな活動をさせてあげたいと考えている。3,000人/日の乗降者数をどう達成するかを真剣に考えているか。バイオ大学・滋賀文教短期大学の学生は田村駅を利用しているが大半が下宿している。みんなでどうするか真剣に考えて、利用者を増やさないといけない。図面のここを整備します、いくらかかかりますと言われても、もっと違うお金の使い方が良い。コロナ禍で中小企業の中には生活に困っている方がおられるので、きちっと説明ができる形でしっかり取り組まないといけないと思う。

→非常に厳しい言葉と熱い応援のお言葉をいただいた。

- 皆さん非常に熱い思いで推進会議に参加されている。例えば、アイデアに対して真剣に長浜市が取り組んでグランドデザインを描く。議会の中で、田村駅に関してのグランドデザインというものを広く市民に向かってアピールしないと前に進んだ感がない。ポテンシャルは高いのに埋もれている。コロナ禍であっても推進会議を年4回ほど開催しないといけないと思う。進捗状況を見通せない中では1,2回かもしれない。市長、議員の皆さんが、田村に対して熱量をもって臨まれることを期待する。市民に伝わらないと良い絵が描けてこないし、地域のみんが協力しようとならないと思う。

→グランドデザインを描くにあたっては、皆さんのご理解とご協力が必要と思っています。皆さんのお知恵を拝借しながら進めていく。皆さんにご納得いただけるような絵が書けるように今後進めていきたい。

→今日のご意見は、田村駅周辺整備を進めていくうえでは、もっと大きな範囲で具体的な設計図を示してほしいというお話だと思います。基本構想や基本計画で整理しているが、同じことをご指摘されているので、早急に会議を開いて説明する。委員の皆さんと共有し進めていく。広いエリアのまちづくりの姿は具体的には示せていない状況であるが、まずは駅の整備からということで今に至っている。見直しをかけたことで、しっかりと決めていかないとまちづくりが進まない。具体的にどのような進め方をするのか、どんなハードルがあるかを共有していきたい。そこは委員会で議員の方々にもご指摘をされているところです。市街化調整区域や優良農地の開発はかなりハードルが高いため、地域の方々の思いをしっかりとらえて具体的にまとめないと突破することは難しいと思っています。それを実現するために行政もしっかり取り組まないといけないと考えているところですが、皆さんがどうすれば良いのかということも大事なことと思っています。推進会議であるので、何とかまちづくりを進めていく中で、田村駅の方も改築に繋げていくってところのいろんなことを推進していくために、皆さんのお知恵をお借りしたい。